

た よ り



〒518-0814 伊賀市上友生785番地

TEL&FAX; 0595 (21) 8839

URL: <http://www.iga.ed.jp/igaken>E-mail: iga-ken@iga.ed.jp

6月も半ばになりました。新型コロナウイルス感染拡大防止に加え、熱中症対策に気を配りながらの日々だと思えます。新型コロナウイルス感染が減少傾向にある中、修学旅行や運動会（体育祭・体育参観）を予定通り実施できる（できた）ことにほっとされているのではないのでしょうか。特に昨年度も大変気苦労いただいた修学旅行ですが、今年度は中学校において「2泊3日・県外へ」と日数や行き先も変更され、子どもたちの見聞や学びが深まっていることだと思えます。また、小学校においても三重県内での実施は変わりませんが、日程・内容等創意工夫しながらより充実したものになるよう取り組まれていると聞かせていただいています。今週末で4小学校・9中学校が修学旅行を終えますが、今後実施予定の小中学校も予定通り実施できることを願っています。



行事や教育活動を通して子どもたちは大きく成長しています♪

ホームページや学校・園だよりなどを拝見する中で、「コロナ禍3年目、感染対策をしっかり行いながら、これまでできなかった学校・園行事を実施したり、昨年度の内容に創意工夫を加えアレンジしたりすることで、子どもたちの大きな成長が各学校・園で生まれている」ことを実感しています。コロナ禍前に戻る必要はないと思いますが、新たに創意工夫した行事や教育活動の実施を通して子どもたちが成長していることは紛れもない事実だと思います。すべてを紹介することはできませんが、事例を2つ紹介します。

◇体育祭(柘植中学校)

…振り返ってみますと、縦割り種目、学年種目、全校種目で構成されている本校の体育祭。子どもたちは、連続して競技に出場したり、出場していない時も競技の運営で走り回ったりと大忙しの半日でした。感染症対策をしながらも「みんなが楽しめる体育祭」にするために、種目内容もいろんな工夫がなされていました。例えば、学年種目「玉入れだるまさん」という種目は、学年ごとに決まった色の球をグラウンド一面にまき、それを自陣のかごの近くまで集めてきて、玉入れをします。途中で数回BGMが止まるのですが、そのときは「だるまさんが転んだ」のルールで動くことができません。真剣にやればやるほど競技している側も見ている側も楽しい種目となりました。どの種目も用具の準備、保護者席前での説明、競技中のアナウンス、片付けと、子どもたちはきびきびと動き、予定の終了時刻よりも早く終わることができました。準備・片付けさ

えも楽しんでできる柘植中生…素敵です！

翌週 23 日の全校集会では、各学年からの振り返りが発表され、「与えられた役割だけでなく、自分から仕事を探して動けたこと」や「学年やチームを超えて応援できたこと」「クラスの団結を感じたこと」「緊張感も楽しみながらできたこと」などが出されていました。子どもたちは、「自分たちで創りあげる体育祭」を実感できたのではないのでしょうか。

◇運動会(友生小学校)

…子どもたちが決めた今年のテーマは、「心を一ひとつに 協力！笑顔！」。今年度も全校での行事がなかなかできない中、全員で創り上げた学校行事となりました。コロナの影響や熱中症対策等、様々な制限がある中で、子どもたち一人ひとりが、がんばった練習の成果を力一杯表現することができました。

6月1日(水)の運動会予行で、「素晴らしいね」と演技を褒めた私に、心外だと言わんばかりに「こんなと違う、まだちゃんとなってへん」と答えた子がいたのですが、運動会当日、演技が終わって退場してきた時の、やりきった満足感に輝いた表情は本当に素晴らしいものでした。このような子どもたちの大切な経験や学習を支えて頂いているのが、ご家族、地域の皆様のご理解とご協力であると、あらためて感謝しています。

※下線はこちらで引きました。

改めて子どもたちのエネルギーやパワーはすごいなと実感しました。子どもたちが自ら創意工夫して学年を超えて取り組んだ姿や、当日最高の演技をするために練習で決して妥協しない思いに、胸が熱くなりました。行事を通して培った力が、日々の授業や生活の中にどうかされていくのかとても楽しみです。



6/24(金) いよいよ研究発表会♪～成和西小～

【研究主題】 協同的な活動を通して、安心して学ぶことができる学校づくり
～ICT 機器の効果的な活用による深い学びの創造をめざして～

伊賀市教育委員会指定学校教育研究事業推進校による研究発表会が、6月24日(金)午後、成和西小学校で実施されます。プログラミング教育特別講座、低中高学年別の公開授業、分科会(低中高別)、全体会が予定されており、全体会では、東京学芸大学 ICT センター 森本 康彦教授からご講演(演題:「成和西小学校の実践から創造する伊賀市がめざす GIGA スクール構想」)いただきます。GIGA スクール構想の実現にむけた特別講座や公開授業、ご講演から多くのことを学ぶ機会になると考えています。



雑感: 成和西小学校の研究主題から、「協同的な活動」「安心して学ぶ」「ICT 機器の効果的な活用」「深い学びの創造」というキーワードがクローズアップされてきます。1人1台端末が配置され、各学校では試行錯誤しながら、その活用と深い学びの創造に取り組んでいます。まだまだ道半ばの取組ですが、成和西小学校の研究発表会から多くのヒントを得ることだと思います。多くの方が参加し、そして各校・園で還流を行い、広がりや深まりがありますようお願いしつつ、私もしっかりと学んできたいと思っています。